



◆ 特集

「環境を考える集い」

◆ 「祭りをやろう会」発足

「踊り・歌・音の感動ステージ！」

町民待望の「標津町生涯学習センター・あすばる」が、7月7日オープンしました。

この日オープンイベントとして、とどわら太鼓、カムイチエップジャズオーケストラ、合唱サークル・グリーンフレンズと踊り子のみなさん総勢140人による「標津・踊りと歌と音のフェスティバル」が開かれました。

躍動感あふれる“踊り・歌・音”の感動ステージに、会場は熱く燃え上がりました。

豊かな標津町の自然を再認識し、その豊かな自然を行政と住民が一体となって、どうまちづくりを生かしていくかなどをテーマに七月十三日、生涯学習センター「あすばる」のオープン記念行事として「環境を考える集い」(町・町教委・北海道新聞社主催)が開かれまし

パネリスト 三人の提言



エコ・ネットワーク代表

小川 巖氏

観光の見かた
変えるべき

観光に対する言葉として「環境体験」を提案したい。観光は主に景勝地を対象とし、大人数で訪れる。地域との結び付きがほとんどない。しかし「環境体験」は少数が長期滞在し、地元とのふれあいも深くなる。

滞在人数と時間をかけた数値を効果の判断材料にすると、千人が一時間滞在した場合、千かける一で効果は「千時間・人」。一方、五十人が一泊(約二十時間)すると、これも効果は「千時間・人」になる。観光に対する見方を変える必要がある。

漁業が農林業と手を
つなぎ生き抜く



北海道指導漁業協同組合
連合会環境部長

柳沼 武彦氏

一九八八年に標津漁協婦人部などが始めた「木を植えて魚を増やす」運



基調講演 「自然の声を聴こう」

作家 立松和平氏

現在、世界の人口は五十七億人に達している。国連の予測では、二〇五〇年には百億人になるとい

う。その時地球は、食糧生産は、はたしてもつだらうか。二十一世紀の時代は食糧の取り合いになってしまう。

人間は、言い方は悪いが、他の生物の死がいを食べて生きており、食物連鎖の頂点に立っている。動物は、自分では何も作っておらず、植物や他の動物のエネルギーに支えられている。

植物は土からエネルギーを取り入れている。地球の資源の基本中の基本は「土」。しかし、食物を育てている表土は、地面からわずか

地球資源の基本は土。
土や森を守ること

五センチ程度。地球を覆う表土の薄い膜は、砂漠化が進みボロボロになっている。

ここ二、三年で世界の食糧事情は劇的に悪化している。大切なのは土を、森を守ること。戦後「日本経済はゼロから出発した」といわれているが、われわれには豊かな自然があった、ということをお忘れはいけない。

これからは、ますます森や海を大切にして、食糧生産をきちんとできる国を考えていかなければならない。二十一世紀は第一次産業が本場に大切な時代になる。標津は第一次産業をベースに生きていけるのでみなさんのふるさとの自然を大切にしてほしい。

あすばる
あばで

「環境を考える集い」

豊かな自然の保護と
まちづくりのあり方...

くりを検討する時期に
きている。



標津町長

小田桐四郎氏

地方があるから都会
があるという自負を





自然への認識をあらたにした「環境を考える集」。会場には約150人の町民が訪れ、真剣に聞き入っていました。

札幌や東京から標津に戻るとき、中標津空港の上空から大自然を見ると、ほっとする。この「ほっとする」ということがまちづくりの基本になる。我々は、都会があった地方があるのではなく、地方があるから都会があるのだという自負を持つべきだ。

標津の基幹産業は漁業と酪農。漁業は年間約五十億円の水揚げで、酪農は六十七億円の生産がある。農業開発は河川に影響を及ぼし、二つの産業には相反する面もある。豊かな自然環境と酪農とが調和したまちづくりを目指したい。

パネルディスカッション

標津の自然に対する印象

小川氏 海や森、全国的に知られる川や湿原がセットであるのは道内でもまれになった。後世に残すべき偉大な財産だろう。

柳沼氏 標津沖に大量のクジラが集まるそうだが、これは豊かな自然を示すバロメーターといえる。

百本以上の川が海に注ぎこみ、アイヌ語で「サケがたくさんとれる所」を表す「シベオツ」の語源通

りだ。

漁業と酪農の調和は難しいが…

柳沼氏 大量の生産物を作るためには、上、下流の調和を図らなければならぬ。(別海町の)西別川流域では、二十一万本の木を植える調印書をつくるほど漁民と農民のつながりは強い。日常的に手を結べる部分は全国的にまだある。

立松氏 小笠原諸島などでクジラを見て素晴らしいと感じた。遠軽町(網走管内)の友人からは、湧別川を忠類川のよ

うにサケ釣りの川にしようとする話を聞いた。漁業者が他と手を取り合うことで、

すてきなエコツアーを展開できる



コーディネーター
北海道新聞
釧路支社報道部長
池田 清氏

小川氏 「自然体験交流」がカギ

柳沼氏 「サケ文化」の創造を

立松氏 道東は日本の“聖地”

小田桐氏 やすらぎとロマンを

と思

標津町は新しいまちづくりを進めているが、目指すところは。

小田桐氏 恵まれた自然が基本となるだろう。町が掲げる「ストーリーのあるまちづくり」は、まだ粗雑さが残る町内を自然と調和させたものにするのがテーマ。そのため、まず景観と郷土芸能の充実を進め、来町者にやすらぎとロマンを感じさせるようにしたい。

町のはり

柳沼氏 環境の問題の大部分は教育に由来する。子供たちに環境教育を徹底するため、外に出して標津の良さを認識させる。標津川流域サミットなど、広域的に若者が話し合える機会があってもよい。

立松氏 テレビのロケなどで道

東を訪れると、観光客は実際の自然を見て期待を裏切られている、と感じる時がある。しかし、標津町はサケと森と川をつなぐシンボルにして、人工的でない、新しい自然のイメージを創造できる地域だと思う。

小川氏 これからの観光は、少人数にまた来てもらい、それに地元が協力する「自然体験交流」がカギ。標津町の場合、標津サーモパークがまさにその拠点となる。

この貴重な自然環境を後世に伝えていくには何をすべきか。

小川氏 町民が、自然の中で「遊ぶ、楽しむ」という、リラククスした姿勢を持ち続けることが大切。

柳沼氏 標津町は漁師町らしくなく、きれいなまち。ニシン文化のような「サケ文化」があってもよいのではないか。漁業者、農業者の両者でもっと知恵を出すべきである。

立松氏 森のほか、河口にアシ原をつくるなどの保護策もある。日本の聖地ともいえる道東の自然を安売りしてほしくない。また、貴重で大きな資源のあることを耐えず認識し続けることが必要だ。

待望の生涯学習センター

「あすばる」 オープン!



オープンした「あすばる」の落成式の模様



オープンイベントの「標津・踊りと歌と音のフェスティバル」

町生涯学習センター「あすばる」(細見浩センター長)の落成式が、七月七日、同センターで行われ、本町の文化活動の拠点施設の完成を祝いました。

同センターは、鉄筋コンクリート造り平屋建て二千九百四十三平方メートルで、総事業費は約十四億円。六百人収容の多目的ホールのほか、音楽室、美術工芸室、茶室、研修室、また、別棟の陶芸ハウスなどを完備。

同センターの完成により、中央公民館が図書館に、川北公民館が川北生涯学習センターに、農村環

境改善センターは、電動式移動席(四百五十席)を導入し町の文化ホールとして活用するなど、町内の社会教育施設が再編成もされました。

落成式では、関係者や町民など百五十人が出席。前庭に設置された、米坂ヒデノリさんの「集い」を表す三体のシマフクロウのモニュメントの除幕、テープカットのあと多目的ホールで式典が開かれ、胡弓(こきゅう)演奏でのこけら落しのと、小田桐町長があい

さつに立ち「町民の文化活動、交流、生涯学習の拠点として大いに利用してほしい」と式辞を述べました。

夜にはオープンイベントとして町民約四百十人が出演し今年三月から練習を続けてきた、あすばるオープンを盛り上げる会(小岩晶子会長)による「踊りと歌と音のフェスティバル」が繰り広げられ、編曲されたソーラン節を、とどわら太鼓、カムイチューブジャズオーケストラの演奏と合唱サークル・グリーンフ

レンズの歌にあわせて、九十

「あすばる」に
モニュメント、ブロンズ像を寄贈
株上田組・(有)道東土建興業

「あすばる」のオープンを記念して、(株)上田組(上田光夫代表取締役社長)が米坂ヒデノリさんの「集い」を表す三体のモニュメントを、道東土建興業(有)(遠藤進治社長)は会社設立十五周年を記念してブロンズ像を「あすばる」に寄贈しました。

四人の踊り手が、躍動感あふれる踊りを披露しました。



株上田組が寄贈した米坂ヒデノリさんの「集い」を表す三体のシマフクロウのモニュメント



ブロンズ像を小田桐町長に手渡す道東土建興業(有)遠藤進治社長(六月二十日)

標津らしい
伝統ある
祭りの創造を

平成10年実施に向け 「祭りをやろう会」発足

標津らしいまちづくりを指し、現在町が取り組んでいる「ストーリーのあるまちづくり計画」の一環として、町民による「祭りをやろう会」が発足、七月二日に初会合が開かれました。

今回発足した同会は、ストーリーのあるまちづくり計画の重点課題のひとつである「誇りと伝統をもつ芸能文化の創造」に向けて発足したもので、百年後に残る祭りを創ろうを合い言葉に、既成の祭りにとらわれず一から練り上げ、全町民総参加の祭りの創造を目指



七月二日役場会議室で初会合が開かれた「祭りをやろう会」

しています。委員の構成メンバーは、広く町民各層からの意見を聞くために、地域や年齢を考慮し、二十六人で構成されています。

初会合のこの日は委員十名のほか、アドバイザーとして地域振興プロデューサー・イベントプロデューサーの新藤健一郎さん、まちづくりについて全国で活動しサーモンダービーも手がけた永井正人さんの二人も出席。

席上、小田桐町長が「地域に根ざした伝統ある祭りは、町民の方々の祭りへの思い

の中からでき上がっていかねばならない」とあいさつしたあと、新藤さんが講演。「今の祭りのキーワードは、音と光と汗である」と説明。また「祭りの創造は目的をもったものでなければ成功しない。楽しくなければ祭りではない」などと話しました。

このあと、出席した各委員から「海と山でのイベントをひとつにまとめられないか」「標津を離れた

人たちが祭りのために帰省するよ
うな魅力ある祭りを創るべき」など、活発な意見が出されました。
同会は今後も毎月一回の会合を

私たちが「祭りをやろう会」の
メンバーです。

〔敬称略〕

- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| 
中田 好信
(標津) | 
戸田 雅彦
(標津) | 
中村 憲二
(標津) | 
石橋 昌幸
(標津) | 
沢向 博
(標津) | 
千葉 元
(標津) |
| 
熊谷 田鶴
(標津) | 
川村 達夫
(標津) | 
西山 一成
(標津) | 
佐々木知恵
(標津) | 
遠藤久美子
(標津) | 
西山 一樹
(標津) |
| 
佐藤 強
(川北) | 
葦沢喜代司
(川北) | 
小岩 晶子
(茶志骨) | 
馴山 修治
(伊奈仁) | 
花田 友廣
(忠類) | 
朝倉 一正
(標津) |
| 
工藤 敏文
(薫別) | 
井上 弥貴
(古多糠) | 
黒沢 義昭
(古多糠) | 
大桃 幸男
(川北) | 
下本 友子
(川北) | 
合田 泰之
(川北) |
| | | | | | 
吉田 智
(川北) |

開き、平成九年十二月までに具体化した祭りの姿をまとめ、平成十年からの実施を計画しています。

TOWN NEWS

“サケ”が縁で 交流深まる

福岡県嘉穂町長が来町

全国で唯一「鮭神社」がある福岡県嘉穂町の高倉円次町長ら一行が、七月一日、秋サケ水揚げ日本一の本町を訪れ、南と北の町をサケで結ぶ、末永い交流を約束しました。

両町のつながりは、漁業者自らが売り込みを図る標津サケ・ホタテ消費流通対策協議会（戸田雅彦実行委員長）が、昨年十二月に福岡県内のスーパーで開かれた物産



展に参加した際、約二百年前からサケを神社の鮭塚に奉納する嘉穂町の話を聞き、標津漁協の番屋鮭を奉納したのがきっかけ。さらに今年二月には、同漁協青年部が嘉穂町を訪れ、高倉町長を表敬訪問。これらが地元で話題となり、高倉町長自ら標津を訪問したいと今回、出張で来道したのを機に初めて本町を訪れました。

高倉町長ら一行は、小田桐町長との懇談のあと同漁協を訪れ、鮭神社のお札を鈴木組合長へ贈り、写真、豊漁と海上安全を祈願。この席で、来年度嘉穂町にオープンする物産展の目玉商品として、標津産のサケ、ホタテやイクラなどの加工品を置きたいと要望、大筋で合意しました。

高倉町長は、今後の交流を申し出ており、販路の拡大にも期待が寄せられるため、今後両町の交流はますます活発になりそうです。

「トゥナイト」で 標津町が 放映されました

HTBテレビ番組「トゥナイト」の番組収録のため六月二十三日から二十五日までの三日間、映画監督・タレントとして活躍中の山本晋也さん一行が来町。クジラウオッチングやカレイ釣りのほか、北標津地区での搾乳の模様などを取材し、その様子が六月二十七日、約三十分間にわたり放映され、本町の観光が全国にPRされました。



はまなす苑と病院に 日用品を贈る

漁協婦人部

漁協婦人部（皆川タキ子部長代行）は、七月五日、特別養護老人ホームはまなす苑と標津病院を訪れ、石けんやティッシュ、タオルなどの日用品を寄贈しました。

この寄贈は、同婦人部がボランティアの一環として毎年実施しているもの。皆川部長代行は「今後もこれらの活動を続けていきたい」と話しています。



「クジラウォッチング」に中学生招待 千島観光汽船

町の新しい観光資源として期待されているクジラウォッチングを行っている千島観光汽船（竹下恵隆社長）では、昨年引き続き今年も町内の中学生を招待しました。



標津沖で見られるミンククジラ

今年には町内全校の二年生百十人を対象に招待。竹下社長は「町にお世話になっているので、何か町に還元できないものか」と、それでは地元の子供たちにクジラウォッチングの醍醐味を味わってもらおうと企画したものです。六月二十七日には北標津中の生徒五人と先生二人が乗船し写真、港を出港してから三十分もすると、



前方や左右から

クジラが浮上し、「いたぞ！」

「見えた！」と歓

声をあげ大喜び。また、帰り

にはイルカの群

れにも遭遇、生

徒たちは見事なジャンプに感動

していました。

同汽船では、

この招待を来年

以降も続ける予定と

二十三チームが 熱戦を展開

三百歳ソフトボール大会

町民の健康増進と相互の交流を図ろうと、第十七回町民三百歳ソフトボール大会（町教委主催）が、



七月十四日、町営球場などを会場に開かれ二十三チームが参加、熱戦を繰り広げました。

この大会は、一チームの出場選手

の合計が三百歳以上になることが決

められており、男性は必ず満年齢を

記入した背番号をつけ、代打や女性

が交代したときも三百歳以上になる

ことというユニークなルールを用

いて行われており、北海道スポーツ百選

にも制定されています。

結果は次のとおり。

〔Aブロック〕

▽優勝 セーコーマート

▽準備優勝 24ホラーズ

▽三位 ホクモウ、ガンバレ藤男

チーム〔Bブロック〕

▽優勝 しべつサーモン

▽準備優勝 エロチカ茂とゆかいな仲間たち

巨大オヒョウ 釣り上げる 標津沖で釧路の会社員

6月30日、標津沖で体長130センチ・重量30キロもある巨大オヒョウを釧路の会社員（54歳）が釣り上げました。

手ごたえは相当なもので、普通なら針や糸がまいてしまうところ。他のメンバー3人の助けを借り、約10分の格闘の末釣り上げました。

オヒョウは記念に魚拓にし、そのあと刺し身に。約100人分にもなり、味は大味だったとか…。

標津高校

若さはじける 仮装パレード



標津高校（立花茂校長）の学校祭が、七月十三日から十五日までの三日間開催され、同祭の幕開け行事として十三日、仮装パレードが行われました。

真夏のサンタクロース、ハワイアンなど凝った装いで全校生徒が市街を練り歩いたあと、恵盟寮前駐車場で各クラスごとのパフォーマンスを披露、観客から盛んな拍手が送られていました。

忠類パークゴルフ場 オープン!



地区住民待望の忠類パークゴルフ場が6月30日にオープンしました。

同パークゴルフ場は、総事業費580万円。コース面積は12,972平方メートルで、この中に18ホール、パー66(距離792メートル)のコースが設置。また、夜間照明施設、約20台収容の駐車場も完備され、同地区のパークゴルフ愛好会(布袋貢会長)が管理することになっています。当日は、地区住民が参加してオープン式が行われ、完成を祝いました。

出玉にびっくり

親睦パチンコ大会

の遠藤稔



町社会福祉協議会(西山吉二会長)主催の第十六回親睦パチンコ大会が七月二日、標準

ターで行われまし

た。この大会は、同

センターの遠藤稔社長の好意により、お年寄りや障害者を対象に相互の親睦を深めてもらおうと毎年開かれています。この日は九十四人が参加。開会式に続いて、さっそく参加者は抽選された台の前に座り、パチンコを楽しみました。優勝は、二万二千八百九十三発を出した石橋ヨシエさん(67)。「こんなに出るとおもしろいわね」と笑顔がこぼれていました。

運転者に交通安全 を呼びかける

80人で街頭啓発

夏の交通安全運動期間中の八月十五日、町



交通安全協会(疋田敏一会長)と町では警察の協力を得て、ポー川史跡自然公園前の国道沿いで街頭啓発を行いました。

参加したのは、漁協、農協、商工会の青年部や婦人部、各町内会や各事業所の職員など約八十人。商工会婦人部が真心こめて作った交通安全祈願の「愛の鈴」やティッシュ、リーフレットなどをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

五十一世帯に

「緑の宅配便」

営林署・町が苗木プレゼント



標準営林署と町は、過去一年間に新婚カップルと赤ちゃんが生まれた世帯の希望者五十一世帯に「緑の宅配便」として、エゾノコリンゴとフジザクラをセットでプレゼントしました。

この宅配便は、緑の大切さと森林の役割の重要性を理解してもらおうと実施されているものです。このうち、鳩ヶ丘町の小野勉さん宅には、中野渡営林署長と小田桐町長が訪れ、長男の吾(みつる)くん(九カ月)をはじめ家族が見守る中、一株づつ庭に植えられました。

役場などに花の苗 四百株を植える

北標準小学校

このほど、北標準小中学校(名木野宏夫校長・全校生徒四十人)の中学生八人と先生方五人が、役場



庁舎と総合体育館前の花壇に花の苗四百株を植えました。

この花の苗の植え付けは今年で十八年目。同校では伝統として、緑化運動の推進に力を入れていきます。今回、植えた苗は、マリーゴールドとサルビア。生徒たちが三月下旬から同校のビニールハウスで大切に育てたものです。

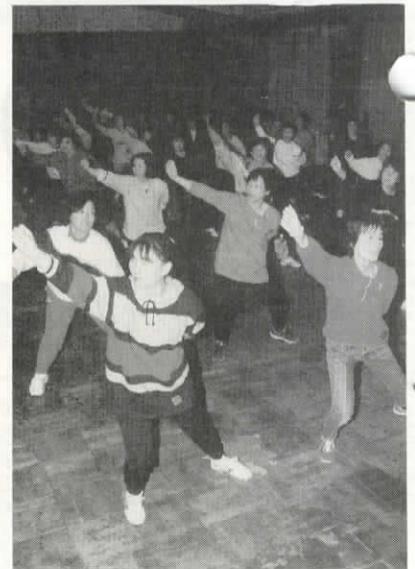
八月には花が見ごろとなり、人々の目を楽しませてくれるでしょう。

こんな まちに!

◀◁3

——七月七日、「あすばる」のオープンセレモニー「標津・踊りと歌と音のフェスティバル」は、すばらしかったですね。「あすばるオープンを盛り上げる会」会長の小岩さんは、本番を迎えるまで大変だったでしょうね。

——お祭りやイベントのあり方についてどう考えますか？
今年で五年目を迎えた札幌の「よさこいソーラン祭り」を自分の目で一度見たかったことから、今年六月友達と二人で札幌へ。まず感じたことは、主催者が楽しんでいること。「いいなあ。うらやましい」、自分たちも楽しんでやらなければと思い、フアイトがわいてき



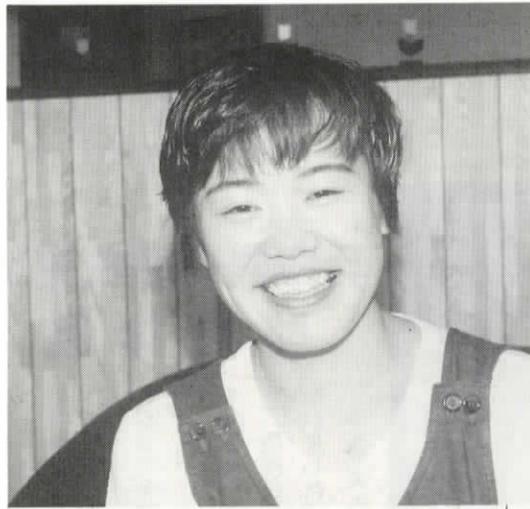
祭りやイベントは「参加して楽しむこと」が基本と小岩さん。写真は、「あすばる」オープンセレモニーに向け踊りの練習に励むダンサー
= 3月19日中央公民館 =

このコーナーは、町民からまちづくりへのご意見や提案などをお聞きし、まちづくりへの参考にしようとするものです。そして、そのために自分たちは何をすべきかも、あわせてお聞きます。

今月号は、あすばるオープンを盛り上げる会長として活躍された小岩晶子さんに、祭りやイベントを通してのまちづくりについて伺いました。

あすばるオープンを盛り上げる会 会長 小岩 晶子さん (25)

=茶志骨・保母=



みんなが楽しんで 参加するお祭りに

——具体的な祭りの提案は？
祭りは「踊る阿呆に見る阿呆。同じ阿呆なら踊りゃ損」というように楽しさが伝わる踊りが必要だと思います。その例が札幌の「よさこい」です。ただ、ここ標津でこのマネごとをしたところでどうでしょうか。

——この度「祭りをやろう会」が発足、小岩さんもこのメンバーと聞きました。標津らしい、魅力ある祭りをと期待しています。ありがとうございます。

まず始めに、ソーラン節の編曲をどうするか。次に踊りの人集め。振り付けなど……。何せ素人で日常の忙しさもあって大変でした。しかし、メンバーの皆さんのやる気と協力が助けられ、今はやり終えた充実感があります。「やらなければ何も始まらない。やればできるんだ」ということを肌で感じました。

このことから、祭りやイベントは、まずやる側も見る側も楽しむことだと思います。みんなが楽しくなければなりません。これが基本ではないでしょうか。

「あすばる」の踊りでも九十人もダンサー全員を楽しくさせるのは大変なこと。考えると難しく「自分が楽しくやれ!」と思い、良

い意味であまり考えず突っ走ったのが成功したのかもしれませんが。

「祭りがきた。大変だ」ではなく、「やるんだ!」という気持ちが必要。頭の中で今までの祭りを変えなければと思っています。

祭りがイベントの盛り上がりがあるという意味で町の活性化につながると思います。今後自分も協力するだけでなく積極的に参加し、祭りの盛んなまち、標津にしたいです。

新しい「農業委員会委員」決まる

平成八年七月七日執行の第十六回標津町農業委員会委員選挙は七月二日、立候補受付が行われ、定員十人に対し立候補者十人で七月八日、無投票により次の方々が同委員に当選しました。

このほかに町議会、農業協同組合などから推薦された三人も同委員に選任され、あわせて紹介します(順不同)。また、七月二十二日には同委員会総会が開かれ、会長には菲澤喜代司氏が、会長代理には栗栖敏博氏が選任されました。

農業委員会とは…

農業委員会は、農業・農業者の代表機関であり、農地の利用調整、交換分合など農地の有効利用を推進するほか、農業振興に係わる様々な問題を協議し、意見を公表して行政に対する建議や諮問事項に答申できることになっていきます。

このことから同委員は、各集落、地域からの農業者の声をまとめ、これからの農業にどう反映させ、実現していくかなど重要な任務を担っています。



(議会推薦) 小笠原一郎氏 (川北)

(農協推薦) 田中不二男氏 (川北)

高橋 道治氏 (川北)

(議会推薦) 渡部 勉氏 (伊茶仁)

菲澤喜代司氏 (川北)

須田 勝利氏 (古多棟)

木村 正一氏 (川北)

佐藤 勝彦氏 (茶志骨)

五百木 功氏 (川北)

小岩 滋氏 (茶志骨)

渡邊 登氏 (川北)

古澤 道郎氏 (古多棟)

栗栖 敏博氏 (川北)

兵庫県の高校生が酪農体験



兵庫県春日町にある氷上高校の生徒たちが修学旅行を兼ねて本町や中標津などを訪れ、酪農家に泊まり込んで農作業に汗を流しました。

この酪農実習は、中標津などから春日町に妊娠牛を販売した縁で十二年前から毎年行われています。今年も営農科、食品加工科、商業科の二年生百三十九人の生徒が訪れ、六月二十七日から七月十日まで各農家に一人か二人ずつ分散して泊まり、農作業を手伝いました。

千葉実牧場

(川北)で酪農実習した同校・営農科の岩崎晋也さんと大野博さんに実習の感想や標津の印象などを聞きました。

酪農は魅力ある職業



岩崎さん
まず、こんなに多く並んでいる牛にびっくり。

学校では搾乳牛七頭を飼っているが実際、酪農家で実習してみても大きな違いを感じた。

仕事はハードだけど、酪農は魅力ある職業だと実感。家族の人に温かく迎えられ、一生の思い出になると思う。北海道は初めてだがその中でも標津は海も山もあり、空気もおいしい。大自然に恵まれ、このまま住んでみたい。

肌で感じた酪農



大野さん
酪農を経営するには、しっかりと考えた方がいい。

がなければならぬことと、厳しさも必要だということを知り、酪農を肌で感じた。今

仔牛の世話をする高校生

農業後継者・実習生 4Hクラブが交流会

地元農業青年で結成している町4Hクラブ(更谷肇司会長)が主催となり、町農業実習生受入協議会(本村好弘会長)と町農業後継者対策推進協議会(会長小田桐町長)との交流会が六月二十日、ポー川史跡自然公園などで開かれました。



この交流会は、仲間づくりを目的に今回が初の試み。参加した各メンバーの若者二十五人はボーリングを楽しんだ後、同公園キャンプ場で焼肉を行い「写真」交流を深めました。今後は様々な分野の勉強会もあわせて実施していく予定です。

は無理だけど、将来酪農を自分でやってみたくて意欲がわいてきた。きのう(七月八日)仔牛が生まれ、生命の誕生に感動。この広い大地でこくのあるおいしい牛乳は最高。人のやさしさにもふれ、また標津に来たい。

地域を支える



町内会活動を
紹介します

薫別町内会

☆デー・タ☆

・世帯数
五十五世帯（五班編成）
・役員
会長 南 光雄さん
副会長 梅木 勝美さん



南 会長

毎月第一日曜日に 一斉清掃を実施

毎月第一日曜日の午前七時、「おはようございます」のあいさつとともに町内会のみなさんによる町内の一斉清掃が始まります。

この一斉清掃は、十五年ほど前



毎月1回、地域ぐるみで清掃を行う薫別町内会

=写真は7月7日=

から始まり、毎年五月から十一月までの第一日曜日に行っており、今ではすっかり定着し、ほとんどの町内会の方々が参加しています。自分たちの住んでいる薫別を自分たちみんなの手できれいにしようと、一人ひとりの意識の高まりから始まりました。

また、七月に開かれるお祭りでは若い人たちが中心となり盛り上がりを見せれています。樽みこしが市街を練り歩き、浴衣姿の女性による踊りパレード、また、ソフトバレーボール大会やカラオケ大会なども行われまちは祭り一色に。

本州から漁場に入っている人たちも加わって交流しています。

このほかに、有名になったのが「こいのぼり」。薫別川にワイヤーをかけてたくさんこのぼりを飾ったもので、風にたなびく様は壮観でたちまち話題を集めました。現在、国道のトンネル工事のため中断していますが、再開したいとの声があります。

〈会長から一言〉

「何事も地域ぐるみで取り組んでいます。今後みんなの手でまちをきれいにしていきたい。」



ふすまを開けたら、押し入れの中の収納物が落ちてきた。あれこれ積み過ぎて、どこに何を入れたか分からなくなってしまう……。そんな経験はありませんか？押し入れは、単に物がたくさん収まればいいというものではありません。どこに何があるかがすぐ分かり、出し入れはいつもスムーズといった、きちんとした管理ができてこそ、上手な収納といえます。

押し入れの上手な収納

原則は、よく使うものを手前に、そうでないものは奥に入れること。市販の押し入れタンスやキャスター付きのボックスワゴンなどを利用すると、押し入れの奥も有効に使い、収納物を取り出しやすくなります。透明プラスチック製なら中身が一目で分かり、より便利。組立式のカラーボックスを横にねかせるのも、奥のデットスペースを活用するのに有効です。



出し入れを考えた物の配置を

オフの毛布などでしょう。使わない布団類を下にしまい、その上に日常使う布団を載せるなどの積み重ね方式が多いようですが、これは、下の布団が傷むだけでなく、上に積んだ物も安定せず、進められませんか。そんな場合、上下二段に分かれている押し入れを、もう一区切り分割して上部のスペースを有効に生かしてはどうでしょう。棚を作りつけなくても、例えば同じ高さの押し入れタンスを押し入れの両端に置き、その上に板を渡すだけで立派な棚になります。どこに何を入れたか分からなくなるのを防ぐには、収納時に図解メモを作るのが確実な方法。収納物を写真に撮っておくのも便利です。それらを押し入れタンスの引き出しなどに張っておけば、久し振りに使う物も迷わず探し当てられます。

みんなの広場

皆さんの声を
このコーナーに
お寄せください

ていますが、その月によって配付
がかなり遅れることがあります。
検診や募集など締め切りのある記
事もありますので、町から早めに
配付するように町内会にお願
いしていただきたいのですが。

A 「広報しべつ」の発行日
は毎月三十日（三十日が
土・日曜・祝日の閉庁日の場合は
その前日）です。

広報紙の発行は
いつですか？

ご質問のとおり、内容によって
は急ぎの記事もありますので、町
としても早めに広報紙を各ご家庭
にお届けしたいと考えています。
今後も町内会連合会や町内会を通
じ、迅速な配付について協力を呼
びかけていきます。

（企画振興課）

時事川柳

税だけは納めましようよ義務だもの
カラカラでわんざわんざと税を食
新しい政策という一番煎じ
勤務からはなれ休める日が近い
看護婦の笑顔は白い風となる
運動会スタート役で気が重い
大漁旗めしたき女ののが笑い
えもんかけゆかたもすすける雨ばかり
なめくじに蝶が日傘になってやり
炎天下庭木も隠居もひからびる
流れ星ほたる故郷の夜が光る
冷え込みてあやめ祭りも花つぼみ
痛いようママの芸術一休さん
婦人会長信条唱和締めくくる
あすばるができて文化の花が咲く

布施惣一郎
" "
" "
今泉 順一
" "
" "
渡辺 孝子
" "
" "
太田 明人
" "
" "
戸村 寿生
" "
" "
木枯紋次郎

健康番 健いち

今月の担当は



村上保健婦

食中毒の予防

今回は食中毒についてお話し
ます。

まず、最近恐れられている「O-157」ですが、正確には「病原性大腸菌O-157」といい、腸の中で毒をつくり腎臓や脳に大きな障害を与えます。赤痢並みの強い菌力です。

初期の症状は、水のような便でだんだんと血性の便に変わってきます。日本では平成二年、埼玉県幼稚園で汚染された井戸水により死者二人を含む二百六十八人の集団発生が初めての事例です。

この菌の特徴は熱や消毒剤に弱いことです。そして、菌を持つ家畜や感染者の糞便で汚れた水や食品を食べた時に感染が起きます。予防法として――

- ①危ないと思ったら過熱調理にする。
- ②調理をする前に手や食器を流水で十分に洗う。
- ③井戸水や受水槽などの衛生管理

には十分気をつける。
④血性の下痢が出たらすぐに病院に行く。

⑤感染者の便は直接触らないでゴミ手袋を使う。
⑥便で汚れた衣類は煮沸や薬剤消毒をするなどです。

とここで「O-157」に限らず食中毒の予防には「清潔」が欠かせません。そこで調理には必ず使うふきんやまな板の使用方法についてお話しします。

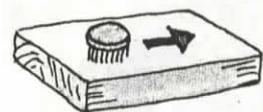
（ふきん）

- 良いふきんの条件
- ① 汚れを吸い取る力
- ② 汚れの落ちの良さ
- ③ 乾燥の早さ
- ふきんの寿命（一般家庭では一カ月くらい）
- 古くなると――
- ① ケバだつてくる。
- ② 蛋白質がたまり汚れが落ちにくくなる。
- ③ 偏食して黄ばんでくる。
- ふきんの消毒
- ① 一回毎に洗う。
- ② 煮沸消毒が薬品での消毒。
- ③ 乾燥は日光にあてるか、アイロンをかける。

（まな板）

- きれいなまな板にするには――
- ① 肉用・魚用・野菜用と別々に使う。

まな板は清潔に！



② キズは細菌の隠れ家なので洗うだけでなく、殺菌消毒もする。

③ 洗浄は中性洗剤をつけてブラッシングしたあと、流水で十分洗う。

④ 殺菌は熱湯をかけ、漂白剤につけて日光消毒をして十分乾燥させます。

「清潔」とともに「冷却」も大切です。冷蔵庫のお話もします。

● 正しい冷蔵庫の使い方――

- ① 中の温度は5℃以下にする。10℃以上だと細菌が繁殖します。
 - ② 週に一回以上は中を掃除する。
 - ③ 霜がつくと良く冷えないので早めに霜とるをする。
 - ④ 肉や魚はラップ類で包むか、ふたつき容器に入れる。
 - ⑤ 温かいものは冷やして入れる。
 - ⑥ 物を詰め過ぎず、食品と食品の間にすき間をつくり冷気が通るようにする。
- 以上簡単に説明しましたが、こわい病気の食中毒を防ぐため、十分注意しましょう。

「人口は減少していますが、本町の祭りやイベントに関しては、「行政を中心として非常に良く取り組んでおり、商工会としてもできるだけ力になりたい。また、ただ実施するだけでなく、本当に町の活性化につながるイベントがやりたい」と力強く語ります。

豊富町、羅臼町に各五年間勤務し、今年から本町に。

標津の印象は、「はじめは漁業

新町民に スポット

工藤 敏史さん

町商工会経営指導員



「まちの活性化に
つながるイベントを」

の町とって思っていました。酪農も盛んで、また、観光にも力を入れており、とてもバランスが良い。実際に住んでみてとても素晴らしく、長く標津に住んでいたい」と話します。

本町の商業については、「価格破壊の影響で、買い物客が町外の大形店に流出しており、商工会としても何か違った面で手を打たなければならぬ」。また、

町民のみなさんには、「自分自身を覚えてもらいたいので、仕事はもちろん、いろんな分野で

町民のために一生懸命頑張りたい」と意欲を燃やしています。

趣味は、野球とソフトボール。町内の野球チーム「ブレンダース」に所属しています。最近、囲碁も始めたそうで、教えてくれる人を探しているとか。また、

あすばる主催の英会話教室に通い、熱心に勉強中。昭和三十六年二月十五日、東京都立川市生まれ。現在独身。

二年間ご苦勞様でした

標津病院・鬼塚院長が退任



町立標津病院の鬼塚義久院長が七月をもって退任しました。

鬼塚院長には二年二カ月にわたり、大変熱心に診療にあたっていただきました。

退任にあたり、鬼塚院長から町民のみなさんにメッセージをいただきましたので紹介します。

標津での二年二カ月間、皆様には大変お世話になりました。家族ともども感謝の気持ちでいっぱいです。

私は自治医大を卒業し、これまでの十年間、地域医療を中心にやってきました。地域医療は都会や大学病院とは違い、専門分野のみならず、総合的医療を必要とされます。地域に溶け込み病気がけではなく、人をみれるよさな、そんな医師を目指しておりました。

しかし、理想とする医師になるためには、まだまだ勉強が必要と感じています。二年かかって、

最新機器を導入した
標津病院で

「人間ドック」の

受診をしませんか

健康はすべての人の願いです。

「人間ドック」によって、日常気付かない体の赤信号をキャッチし、恐ろしい成人病の予防をして、健康管理に努めましょう。

「人間ドック」は、もちろん標津病院でも受けられます。ご希望の方は、お気軽にご相談ください。

☎2-2111

ようやく心が知れ始めた患者さんたち、そして標津の地を離れるのは、とても残念ですが、もう少し自分を磨き、いざまた、みなさんに恩返しできればと思っています。最後になりましたが、退任するにあたり、たくさん温かいお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。

町民の皆様へ

鬼塚 義久

INFORMATION BOX

相談

行方不明者相談所が 開設されます

北海道警察では、家出をした人や行方不明になっている人を捜したり、亡くなった方で身元がわからない人の調査をして家族の方々に知らせるため、次のとおり「行方不明者相談所」を開設します。ご遠慮なくご相談ください。

■日時 9月5日(木)～6日(金)

午前9時30分～午後4時

■場所 釧路警察署

★お問い合わせは、最寄りの警察署または派出所、駐在所まで。

税関

通貨・証券など お返ししています

税務署では、お預かりしている次の通貨や証券などをお返ししています。

■終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸港の税関、開運局などに預けられた通貨、証券など。

■外地の集結地において総領事館に預けられた証券のうち、日本に送り返されたもの。

★返還の申出、お問い合わせは、上陸地を所轄する税関または根室税関支署(☎01532-3-2001)まで。

戸籍の窓口から

(6月11日～7月10日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
斉藤 将太くん	川上町	斉藤 暁雄 留美子
塩沢 祐奈ちゃん	曙町	塩沢 良博 和美
林 龍太くん	北川北	林 誠一 田佳里

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
菅 沼 勇 人	戸 村 恵 美	曙 町
吉 田 松 夫	島 津 幸 江	西北標津
川 島 治	高 橋 順 子	曙 町
小 守 鉄 男	菊 地 登 志 江	曙 町

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
今 野 武 右 衛 門	新川上町	77歳
畑 榮 次 郎	弥栄町	95歳
武 藤 京 子	本 町	67歳
三 船 義 雄	薫 別	87歳
長 内 久 三	弥栄町	87歳

寄付・寄贈

ありがとうございました



ハナシヨウブ (アヤメ科)

●はまなす苑に――

- ・畑義孝さん
- ・谷内ツネさん
- ・田村君江さん
- ・さわやかなの会

●標津病院に――

- ・チェリー会

●図書館に図書を――

- ・富森博さん

'96市町村振興宝くじ

サマージャンボ宝くじ

一等6,000万円・前後賞合わせて1億3,000万円

●発売期間 8月20日(火)から9月6日(金)まで

●抽選日 9月20日(金)

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住み良い街づくりに使われます。

人 事 異 動

7月1日付けで教育委員会内の人事異動がありましたのでお知らせします。

(係長・主査職以上を掲載)※()内は前職。

- ・生涯学習センター長兼川北生涯学習センター長(指導主幹) 細 見 浩
- ・同次長兼社会教育課長(社会教育課長) 宮 川 協 三
- ・同主幹兼管理係長(中央公民館次長) 小 野 秀 敏
- ・同学習推進係長兼社会教育課社会教育係長
(社会教育課社会教育係長) 鈴 木 邦 夫
- ・同学習推進係主査兼社会教育課社会教育係主査(同主査) 川 森 一 寿
- ・川北生涯学習センター次長兼学習推進係長兼管理係長
(川北公民館次長) 大 島 拓 二
- ・図書館長(中央公民館長兼生涯学習センター準備室長) 福 田 隆
- ・同奉仕係長(生涯学習センター準備室係長) 石 井 政 幸

郵便局

「チルドゆうパック」
新登場!

郵便局では、荷物を保冷(チルド)でお届けする「チルドゆうパック」の取り扱いを新しくスタートしました。

この「チルドゆうパック」は、荷物のお預かりからお届けまで0℃～5℃の温度帯を保つので、ドライアイス、氷などの蓄冷剤を入れる必要はなく、また、発泡スチロールなどの梱包も必要ありませんので、大変便利です。ぜひご利用ください。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

スポーツ

8月のスポーツ

4日(日)

▷東日本野球大会2部支部大会

[9時～町営球場]

10日(土)

▷少年野球新人戦町内予選会

[10時～町営球場]

17日(土)～23日(金)

▷北海道女子短大バレーボール部合宿

[～総合体育館]

8日(日)

▷体協まつり(町民ハイキングの集い)

[9時30分～サーモンパーク]

同(ビールパーティー)

[18時～あすばる]

19日(月)

▷バレーボール実技講習会

[14時～総合体育館]

24日(土)～25日(日)

▷道東地区ソフトバレーボール公認リーダー養成講習会

[13時30分～総合体育館]

▷釧根地区剣道講習会

[14時～標津中学校]

25日(日)

▷少年野球新人戦支部大会

[9時～町営球場]

健康相談・健診日程表

〈8月分〉

乳幼児

■乳幼児相談

20日(火)〈標津〉

[9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/あすばる]

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

22日(木)〈川北〉

[13時30分～14時30分/川北生涯学習センター]

※4・7・10・13カ月児対象

■乳児健診

27日(火)

[12時30分～13時/役場2F集会室]

■離乳食教室

8日(木)

[13時30分～15時30分/あすばる]

■1歳6カ月児健診

27日(火)

[9時～9時30分/役場2F集会室]

■歯ピカ教室

5日(月)

[9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/あすばる]

成人

■一般健康相談

5日(月)

[13時30分～15時/茶志骨パイロット会館]

22日(木)

[10時～11時30分/川北生涯学習センター]

23日(金)

[13時～16時/役場相談室]

■糖尿病健康相談(予約制)

21日(水)

[10時～16時/役場相談室]

妊婦

■ママスクール

2日(金)・9日(金)

[13時～15時/あすばる]

★お問い合わせは、役場福祉保健課保健指導係(☎内線129・135・131・138)まで

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	8月8日・8月22日 (木) (木) 9月5日 (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	8月9日・8月23日 (金) (金) 9月6日 (金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	8月7日・8月21日 (水) (水) 8月4日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

年金

保険料はまちづくりにも役立っています

～みんなが加入し、

みんなを支える国民年金～

国民年金保険料の納付は、自分自身の老後の生活を支え、次代を担う子供たちの年金資源となるほか、私たちのまちづくりにも役立っています。

本町では、国民年金積立金還元融資事業で、標津病院新築事業、医療機器、スケートリンク造成事業など施設づくりに充てられ、また本年度は浄化センター基幹施設工事に役立てられます。

これは、本町の国民年金保険料の検認率（収納率）が高いために実施できるものです。今後とも国民健康保険料の納付についてよろしくお願ひします。

★お問い合わせは、役場住民課国民年金係（☎内線130）まで。

衛生

トイレの汲み取りは余裕を持って申し込みを

現在、トイレの汲み取りについては、一台のバキュームカーで町内全域を回って実施しておりますが、各地区の申し込み件数がある程度まとまった段階で現地へ出向くようにしています。

そのために、皆さんから申し込みを受けてから汲み取りが完了するまでに2～3週間程度の期間が必要となります。

便槽が満杯になってからでは汲み取りが間に合わないことにもなるので、あらかじめ余裕をもってお申し込みください。

★申し込み・お問い合わせは、役場住民課環境衛生係（☎内線130）まで。

金婚式

金婚式を迎えるご夫婦に記念品を差し上げます

町では、金婚式（結婚50年）を迎えるご夫婦にお祝いの記念品を贈呈します。

次に該当される方は、8月30日（金）までにご連絡願ひます。

■対象者 昭和21年1月～12月の間に結婚され、夫婦揃って健在な方

★連絡先・お問い合わせは、役場福祉保健課社会福祉係（☎内線137）まで。

福祉

福祉環境整備状況調査にご協力を

現在、北海道では、多くの人が利用する施設が、高齢者や障害のある方々に配慮されているかを調査する「福祉環境整備状況調査」を実施しています。

この調査は、ホテル、旅館、病院、学校、官公庁、福祉施設、体育館などの施設を対象として、駐車場の有無、玄関などの段差の状況、車椅子使用者用のトイレの有無などを調べ、これらの調査結果を「新福祉マップ北海道（仮称）」作成の資料として活用するものです。

この調査に関して、調査員が各施設を訪問したり電話による聞き取り調査を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

★お問い合わせは、役場福祉保健課社会福祉係（☎内線126・137）まで。

募集

環境教育の場作り調査ボランティア募集中

今年度から町では、忠類川の釣獲調査とともに、サケ、マスの上、自然産卵の様子を「自然環境についての教育の場」として活用することを目的とし、環境教育の場作りをテーマにした調査を行います。この調査に興味があり、ボランティアで参加してくださる方を募集していますので、詳しくは今月号の広報の折り込みチラシをご覧ください。

海上保安大学校・学校学生募集

■受験資格

昭和48年4月2日（大学校学生は昭和51年4月2日）以降に生まれた者で高等学校を卒業した者及び平成9年3月までに高等学校を卒業見込の者または高等学校卒業と同等と認められる者。

■採用予定数

大学校 約50人

学校 約150人

■試験日

大学校 11月2日・3日

学校 9月29日

■受付期間

大学校 8月29日～9月10日

学校 8月19日～9月2日

★お問い合わせは、羅臼海上保安署（☎01538-7-3999）まで。

防犯・防災

悪徳商法にご注意を！

先月7月12日、羅臼町内で千葉県ナンバーのバスに乗っていた者数名がタマゴの安売りで客を呼び寄せ、30万円相当の布団を買わされてしまったとのこと。このことから、身元のはっきりしない人などから高額の商品を買い物するときは、家族や知人などに相談してから買い物をするように注意してください。

また、このようなことを見たり聞き取りした場合には、最寄りの警察署や駐在所、派出所までご連絡ください。

—中標津警察署・役場住民課—

火災防止の注意事項

～調理器具による火災を防ぐためには～

- ・その場を離れるときは、必ず火を止めてください。
- ・調理器具と壁板の間は、適正な距離を保ってください。
- ・コンロのまわりに燃えやすいものを置かないでください。

※一家に一本消火器を備えましょう。

—標津消防署—

まちの声 123

「標津に育って」



伊藤 富士子さん

(北標津)

= 酪農業 =

私の住んでいる
標津町は、鮭がのぼる町で有名
です。

サーモンパークも標津の観光
拠点として広がりがつありまし
て、札幌から来る甥たちも、必
ずサーモンパークを見るくらい
楽しみにしているのです。標津
は環境も良く、山の水はとても

美味しいですし、お魚にと
っても人にとっても住み良い町な
んです。

標津の町からちょっと北の方に
向かっていくと、北標津がありま
す。私は北標津で生まれ育って、
今も親の家業を継いで酪農を営ん
でいます。結婚して子供二人にも
恵まれ、牛を相手に毎日を過し
ています。酪農は秋にかけて一番
草、二番草の収穫などでお天気と
にらめっこの日が続きます。

天気が続く時は戦争のような日
もありますが、仕事が一段落して
皆が「あー終って良かったネー」っ
てホッとするとその感じがとても気
持ちがよいものです。

秋の仕事も終わると、いよいよ冬

がやってきます。

北標津の学校では、スキーが盛
んなところでして、何と言っても
スキー場が近いんです。私が学校
生徒の頃は、まだまだ何もな
いフトもない金山を、学校行事など
で一生懸命に登ったりしながら滑
ったりしていたものです。懐かし
い感じですよ。今はもう立派な金
山スキー場となりました。

来年から子供にスキーを教える
ためにも、今年からちょっとス
キーに挑戦してみようかなと思っ
ています。六年以上もスキーをし
ていないので滑れるかどうか問題
です。私は運動音痴なのでなにも
スポーツなどはしていませんが、
北標津の皆さんは自分で時間をつ
くってバレーボールやミニバレー、
卓球などと体を動かして楽しんで
います。

それぞれ自分の楽しみを見つけ
ていくことは明日へと、また頑張
ろうとつながりますね。

これからの人生、良い時もちょ
っと悪い時もあるかもしれませ
んが、何事にも前向きに楽しく過
していききたいものです。

次の「まちの声」は北標津の小
川祐司さんです。

人のうごき

・人口 6,716人 (-19)

・男 3,258人 (-6)

・女 3,458人 (-11)

・世帯数 2,334世帯(-3)

▷平成8年7月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

・人身事故 1件(5)

・負傷者 0人(5)

・死亡者 0人(0)

・物損事故 12件(130)

▷6月16日~7月15日まで
()は累計

編集のまど

▽「こんなまちに！」で紹介した小
岩さんは、「祭りばやしを聞くと体
の血が騒ぐ」というほどの大の祭り
好き。ここに祭りの原点があるよう
な気がします。そう言われると日本
人の心には、祭りに対する目に見え
ない熱いものがあるように思いま
す。▽「祭りをやろう会」も発足。
町民代表のメンバー二十六人の方々
は大変だと思いますが、私たちもパ
ックアップして、いつまでも残る標
津らしい伝統ある祭りをみんなで創
り出したいものです。(H)

▽忠類と川北地区にパークゴルフ場
がオープン。夜間照明もあり、毎
日、多くの人でにぎわっています。
これから、ますます「スポーツの町」
に加速がかかりそうです。(M)

広報しべつ

- ・発行日/平成8年8月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
- ・印刷/標津印刷株式会社